

学校だより

平成21年1月14日発行

広島市立広島特別支援学校

校長 嶽野 壽正

TEL 082-245-0304

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

FAX 082-245-0349

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



□ 謹賀新年

新しい年を迎え、皆様には益々ご健勝のことと存じます。今年は丑年です。古来より丑年は、結果だけを求めるのではなく結果へとつながる道を着実にすることが大切であると言われていています。しっかりとした基礎があって発展があります。将来の目標を再確認し、着実な一歩を大切にしたいですね。本年もよろしくお願いたします。

□ 生徒会選挙始まる

生徒会長に2名、副会長に4名の生徒が立候補し、生徒会選挙が始まりました。校内には候補者のポスターがはられ、演説会も予定されています。毎年、広島市選挙管理委員会からお借りした本物の投票箱や記載台を使って臨場感のある会場で投票が行われています。もうすぐ生徒会の代表が決まります。みんなのことをよろしくお願いたしますね。



□ 市総合文化祭作品展示

広島市立高等学校総合文化祭が1月8日から11日まで佐伯区民文化センターで行われました。高等部では、作業学習で制作した製品や美術の時間に作ったお面などを展示しました。展示に来た高校生は勿論ですが、多くの人に特別支援学校での学習の成果を見ていただけたことと思います。



□ 建替えニュース

昨年度末、設計業者の方々が本校の視察に来られました。肌で感じ取った本校の実情等を、今後の設計のなかに活かして頂けるものと期待しているところです。今後も、本校の声が十分に設計の中に活かしてもらえるよう、教育委員会等と密に連携を図って参りたいと考えています。

引き続きご支援のほどよろしくお願申し上げます。

□ 事務部より

今年度の予算が主にどんなところに使われているのか、事務長先生にお尋ねしました。

区分	内容
施設設備	○児童・生徒数の増加に対応するため、プレイルーム・プレハブ教室を2分割し3教室分を確保 ○消防設備、プール補修、給食設備、電気・衛生設備の補修
教材備品	○ビブラフォン・和太鼓・車いす・語学演習器・ホワイトボード・ベンチ・デジタルカメラなどの購入
管理備品	○2F調理室・陶芸室・ランチルーム・食堂・教室の冷房機を更新 ○給食備品の購入

また、本校には上記の他、消耗品費や備品等修繕費、手数料、燃料費が配分されているとのことです。

□ お知らせ

- 例年おこなわれています「広島市立広島特別支援学校の児童生徒と福祉作業所の手づくり作品展示販売会」が、1月22日（木）から24日（土）までアステールプラザで開催されます。是非お立ち寄り下さい。
- 市立学校設備の耐震化の状況について、参考までに裏面に概要をまとめていますのでご覧下さい。

学校施設の耐震化に関する情報提供について

平成20年12月11日付で学校施設の耐震化の状況に関する広島市役所のホームページが開設されたこととお知らせしていましたが、耐震化の状況に関する資料が見たいという意見がありましたのでお知らせします。

1 本校の耐震診断結果

用途	構造	階数	建築年度		面積	耐震基準	優先度調査		第2次診断			備考	
							年度	ランク	年度	Is 値	q 値		ランク
北校舎	RC	3	S	27	4276	旧基準			H9	0.43	1.86	b	H24 移転予定
南校舎	RC	4	S	34	1353	旧基準			H9	0.02	0.11	a	H24 移転予定
技術棟	RC	2	S	38	1168	旧基準			H9	0.71	1.16	c	H24 移転予定
北校舎	S	2	S	57	418	新基準	-	-	-	-	-	-	H24 移転予定
スロープ階段	RC	2	S	57	553	新基準	-	-	-	-	-	-	H24 移転予定
西校舎	RC	2	S	58	663	新基準	-	-	-	-	-	-	H24 移転予定
格技場	RC	1	S	58	124	新基準	-	-	-	-	-	-	H24 移転予定
スロープ階段	RC	3	H	6	539	新基準	-	-	-	-	-	-	H24 移転予定
屋内運動場	RC	-	S	37	710	旧基準			H8	0.53	0.98	b	H24 移転予定

2 第2次診断の説明

Is 値及び q 値の指標	ランク	大地震時の危険度
Is 値が 0.3 未満の場合 又は、q 値が 0.5 未満の場合	a	倒壊又は崩壊する危険性が高い
Is 値が 0.3 以上 0.6 未満の場合 又は、q 値が 0.5 以上 1.0 の未満の場合	b	倒壊又は崩壊する危険性がある
Is 値が 0.6 以上 0.75 未満の場合 かつ、q 値が 1.0 以上の場合	c	倒壊又は崩壊する危険性が低い、要求される機能を確保できない恐れがある。
Is 値が 0.75 以上の場合 かつ、q 値が 1.0 以上の場合	d	倒壊又は崩壊する危険性が低く、要求される機能を確保できる。

※ 本市では、「災害に強いまちづくりプラン」に基づき、Is 値を 0.6 の 1.25 倍の 0.75 以上を目標値としています。

3 耐震補強工事実施状況

屋内運動場（体育館）は、非常災害時に避難場所として活用されることから校舎に先駆けて平成17年度から耐震補強工事に着手し、平成21年度内には全ての耐震化が完了する予定です。

校舎の耐震化については、平成21年度から耐震補強工事に着手し、平成30年度の完了を目標に進められます。

また、耐震診断の結果、大規模な地震（震度6から震度7程度）により倒壊または崩壊する危険性が高いと判断された建物については、平成24年度の耐震補強工事完了を目標に進められています。

本校にも大規模地震により倒壊または崩壊する危険性が高いと診断された校舎がありますが、平成24年度に移転改築予定であることから耐震化工事は予定されていません。そのため移転するまでの安全対策について検討をお願いしています。

震度階級(10階級)気象庁ホームページより転載

